

科目区分	専門分野	授業科目	精神看護学概論
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	2単位(30時間)	開講年次	2年次
目的：精神看護の特徴と基本概念を理解する。 目標：1 精神看護の基本的な考え方を理解できる。 2 精神の健康および精神の機能と発達を理解できる。 3 精神看護とその対象を取り巻く環境の歴史の変遷および社会資源を理解できる。			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 精神看護の基本的な考え方	4	1 精神看護の目的 2 精神保健の考え方 1) 精神の健康とは 2) 精神保健における3つの予防概念 3) リカバリー	
2 精神の機能と発達	9	1 精神の機能と構造 1) フロイトの局所論・心的構造論・力動論 2) 自我の防衛機制 2 ライフサイクルと精神機能の発達 1) エリクソンの漸成的発達理論 2) ボウルビイの愛着理論 3) ピアジェの認知発達理論 4) こころの発達を促進する看護のあり方 3 危機(クライシス) 1) 生体システムとストレス反応 2) 危機理論 3) 適応と不適応 4) 心身相関と健康	
3 精神保健医療福祉の歴史と法制度	12	1 精神医療の歴史の変遷 1) 諸外国における精神医療の変遷と現在 2) 日本における精神医療の変遷と現在 2 精神障害と法制度 1) 障害者の人権および権利に関連する法制度 2) 精神保健および精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法) (1) 入院医療の形態 (2) 入院患者の処遇 (3) 早期退院に関する規定 3) 障害者の日常生活および支援に関連する法制度 (1) 障害者総合支援法 (2) 障害者雇用促進法 (3) 生活保護法 4) その他、精神保健医療福祉に関連する法律 (1) 発達障害者支援法 (2) 自殺対策基本法 (3) ギャンブル等依存対策基本法 3 患者の権利擁護 1) 患者の権利擁護(アドボカシー)とは 2) 自己決定の尊重 4 精神の健康に関する普及啓発	

4 精神保健 医療福祉に 関する社会 資源	4	1 医療サービス 1) 継続医療・看護に活用できる資源 2 福祉サービス 1) 生活支援に活用できる資源 3 経済的支援等 4 行政サービス
	1	試験
評価方法		筆記試験
テキスト		メヂカルフレンド社 精神看護学① 精神看護学概論／精神保健 医学書院 精神看護学〔2〕 精神看護の展開
参考資料		
履修上の 留意事項		予習・復習をして授業に臨むこと。
備考		

科目区分	専門分野	授業科目	精神看護学援助論 I
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(15時間)	開講年次	2年次
<p>目的：さまざまな社会生活における心の健康とそれらに影響を与える諸要因を理解し、健全な心の発達への援助に必要な基礎的知識を習得する。</p> <p>目標： 1 精神保健が関与する社会病理現象への対策と支援のポイントが理解できる。 2 リエゾン精神看護・司法精神看護の役割を理解できる。 3 災害時の精神保健医療活動の目的と方法を理解できる。</p>			
授業計画			
単元	時間	内容	
1 現代社会と精神の健康	4	1 精神保健が関与する社会病理現象 1) 社会構造の変化と社会病理 2) 社会病理現象への対策と支援のポイント	
2 暮らしの場と精神の健康	4	1 家族と精神の健康 1) 現代の家族の様相 2) 夫婦関係と親子関係 3) 家族システムとライフサイクル 2 学校と精神の健康 1) 学校における精神保健上の問題と支援 2) 学校内で精神保健を司る職種 3 職場・仕事と精神の健康 1) 職場における精神保健上の問題 2) 職場におけるメンタルヘルスケア 4 地域における生活と精神の健康	
3 精神看護の発展	2	1 リエゾン精神看護 1) リエゾン精神看護とは 2) リエゾン精神看護活動	
	2	2 災害時の地域における精神看護 1) 災害とストレス 2) 災害時の精神保健医療活動の基本 3) 被災した精神障害者への支援	
	2	3 司法精神看護 1) 司法精神医療と司法精神看護 2) 司法精神看護の対象 3) 司法精神看護の実際	
	1	試験	
評価方法	筆記試験		
テキスト	メヂカルフレンド社 精神看護学① 精神看護学概論/精神保健 メヂカルフレンド社 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 医学書院 精神看護学② 精神看護の展開		
参考資料			
履修上の留意事項	予習・復習をして授業に臨むこと。		
備考			

科目区分	専門分野	授業科目	精神看護学援助論Ⅱ
講師名		実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	2年次
<p>目的：精神の健康問題を抱えて入院している患者や地域で生活している人や家族を支援するための基礎的知識を習得する。</p> <p>目標： 1 精神に障害のある対象の健康回復に向けた看護を理解できる。 2 精神に障害のある対象の社会復帰に向けた看護を理解できる。 3 精神障害を抱えながら地域で生活する人を支援する方法を理解できる。</p>			
授業計画			
単元	時間	内 容	
1 精神障害をもつ人の看護	8	1 患者－看護師関係の構築 1) 精神障害をもつ人の理解 2) 看護師に求められる基本的な態度 3) 精神障害をもつ人との関わり方 2 精神科病棟における事故防止・安全管理と倫理的配慮 1) 治療環境の整備と行動制限 2) 緊急事態への対応 (1) 自殺 (2) 暴力・暴力防止プログラム (3) 離院 (4) 災害時の安全管理 3 精神科の診察・検査・治療に伴う看護 1) 診察時 2) 心理検査 3) 薬物療法 4) 電気けいれん療法 5) 心理・社会的治療 4 精神科リハビリテーション 1) 精神科リハビリテーションの基盤となる考え方 (1) ストレングス (2) エンパワメント (3) レジリエンス 2) 回復過程に応じたリハビリテーションの提供 3) 長期入院患者のリハビリテーション 5 精神障害をもつ人への援助 1) 回復段階に応じたケア 2) 日常生活におけるケア 3) 日常から気を付けておきたい身体合併症 6 精神科でのチーム医療 1) チーム医療における各職種役割 2) チーム医療における看護師の役割 7 精神障害をもつ人をケアする家族への支援 1) 精神障害の家族への影響 2) 家族への支援	
2 地域移行支援・地域生活支援	4	1 地域移行支援・地域生活支援の重要性と課題 2 地域移行支援の展開 1) 長期入院患者の地域移行支援 2) 早期退院支援の展開 3 地域生活支援の展開 1) 地域生活支援を要する対象者 2) 多職種連携による地域生活支援	

		3) 訪問看護をととした地域生活支援 4 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム
3 精神看護 の実際	6	1 統合失調症患者の看護 2 うつ病・双極性障害患者の看護 3 認知症患者の看護 4 児童・思春期の患者の看護 5 アディクションの問題をもつ患者の看護 6 パーソナリティ障害患者の看護 7 摂食障害患者の看護 8 神経症性障害患者の看護
4 看護過程 の展開	11	1 事例をもとにした看護過程の展開 ※1 展開事例：統合失調症 1) 精神看護におけるアセスメントの特徴 2) 目標設定・必要なケアの明確化 3) 日々の関わりの振り返りのポイント
	1	試験
評価方法		筆記試験、レポート
テキスト		メヂカルフレンド社 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 医学書院 精神看護学〔2〕精神看護の展開
参考資料		
履修上の 留意事項		予習・復習をして授業に臨むこと。 提出物は、提出日時を厳守すること。
備考		※1は演習を行う。

精神看護学実習

[2単位 90時間]

目的

精神に障害のある対象を理解し、健康段階・暮らしの場に応じた看護を実践するための基礎的能力を習得する。

目標

- 1 精神に障害があり医療および保護が必要な人への支援方法を理解し、実践できる。
- 2 精神の障害とともに地域で暮らす人に必要な支援方法が理解できる。
- 3 精神に障害のある人とのかかわりを通して、自己理解・他者理解を深めることができる。
- 4 精神の障害とともに暮らす人を支える多職種の役割と連携を理解できる。

病院

目的

精神に障害があり医療および保護が必要な場で生きる人とその家族を理解し、対象に応じた看護を実践するための基礎的能力を習得する。

目標

- 1 精神障害のある対象とその家族を総合的に理解することができる。
 - 1) 対象やその家族を理解するために必要な情報を、意図的に収集できる。
 - 2) 収集した情報をもとに、精神障害に伴う生活への影響や看護上の問題を導き出せる。
 - 3) 対象の今後の生活において強みとなる健康的な側面を明らかにできる。
- 2 対象の日常生活の自立及び社会生活の適応に向けた支援を実践できる。
 - 1) 対象の状態に応じた具体的な目標が立案できる。
 - 2) 目標達成に向けて、対象の強みを活かした個別的な看護計画が立案できる。
 - 3) 対象の家族や対象をとりまく人々に必要な支援を考えることができる。
 - 4) 立案した看護計画をその日の対象の状態に合わせて実施できる。
 - 5) 対象の反応をもとに、日々の看護実践の振り返りができる。

- 3 対象と治療的援助関係を構築するための対応を身につけることができる。
 - 1) 対象に看護者として関心を寄せ、言語的な交流だけでなく、観察を通して小さな変化を察知することができる。
 - 2) コミュニケーション技法を有効に活用した意図的なコミュニケーションをとることができる。
 - 3) 対象の言動をありのままに受け止め、言動の意味を考えることができる。
 - 4) 対象との相互作用の中で、自己洞察を深めることができる。
 - 5) 対象を尊重し、倫理的に配慮した態度・行動がとれる。
- 4 保健医療福祉チームにおける看護師の役割を理解し、多職種連携の重要性と看護の継続性を理解できる。
 - 1) 看護師と他の専門職の役割や連携方法を理解できる。
 - 2) 対象の退院後の地域生活を踏まえた社会資源について考えることができる。
- 5 看護学生として適切かつ責任のある行動をとり、積極的に学ぶ姿勢を身に付けることができる。

精神障害者自立支援施設

目的

精神に障害をもちながら地域で暮らす対象を理解し、対象が自立するために必要な支援の実際と看護の役割を理解する。

目標

- 1 精神障害者自立支援に関する施設の概況及び活動状況を知り、役割・機能が理解できる。
 - 1) 施設の概況や特徴が理解できる。
 - 2) 施設の通所者の概況や活動状況が理解できる。
- 2 精神に障害をもちながら地域で暮らす人が理解できる。
 - 1) 通所者の心身社会的な健康状態が理解できる。
 - 2) 通所者の通所までの経緯と通所の目的が理解できる。
- 3 精神に障害をもちながら地域で暮らす人が自立するために、必要な援助活動の実際が理解できる。
 - 1) 活動プログラムの目的及び内容が理解できる。
 - 2) スタッフの通所者への関わり方が理解できる。
- 4 精神に障害をもちながら地域で暮らす人を支える看護師と他職種の役割、連携方法、継続看護の必要性を理解できる。

実習時期 2～3年次